

防除時期	対象病害虫	重複記載*	蜜蜂に対する影響日数残留(一は影響なし)	登録農薬名	RACコード	系統※	希釈倍数	水100%当たり薬剤量	使用時期	使用回数	備考
仮植前	萎黄病		1	ベンレート水和剤	F:1		500倍	200g	仮植前	1回	1~3時間苗根部浸漬
	炭疽病										10~30分間苗根部浸漬
定植時	アブラムシ類		45↑	ベストガード粒剤	I:4A	A	1g/株	-	定植時	1回	植穴処理土壌混和
生育期	灰色かび病・うどんこ病	①	-	カリグリーン	F:NC		800倍	125g	収穫前日まで	-	予防・治療 野菜類(トマト、ミニトマトを除く)で登録
	疫病		-	ランマンフロアブル	F:21		500~1000倍 100ml/株	100~200ml	生育期 但し、収穫30日前まで	2回以内	株元灌注 予防・治療
開花前	アブラムシ類	①	2~3	マブリック水和剤20(劇)	I:3A	B	8,000倍	12.5g	収穫前日まで	2回以内	
	ハダニ類・ハスモンヨトウ・ミカンキイロアザミウマ		10~21↑	コテツフロアブル(劇)	I:13		2,000倍	50ml	収穫前日まで	2回以内	卵~成虫(ハダニ)
	ワタアブラムシ・ハダニ類・コナジラミ類		4	サンマイトフロアブル(劇)	I:21A	C	1,000~1,500倍	66~100ml	収穫開始3日前まで	1回	
	灰色かび病・うどんこ病	①	-	フルピカフロアブル	F:9		2,000~3,000倍	33~50ml	収穫前日まで	3回以内	予防
開花期	うどんこ病	①	-	ジーファイン水和剤	F:NC F:MO1		750~1,000倍	100~133g	収穫前日まで	-	予防・治療 野菜類(なすを除く)で登録
肥大期	アブラムシ類・うどんこ病		1	ピラニカEW(劇)	I:21A	C	2,000倍	50ml	収穫前日まで	2回以内	卵~成虫
	ハダニ類						2,000~3,000倍	33~50ml			
	灰色かび病・うどんこ病	②	-	カリグリーン	F:NC		800倍	125g	収穫前日まで	-	予防・治療 野菜類(トマト、ミニトマトを除く)で登録
	アザミウマ類・コナジラミ類		1	モスピラン顆粒水溶剤(劇)	I:4A	A	2,000倍	50g	収穫前日まで	2回以内	主に成虫
	アブラムシ類						2,000~4,000倍	25~50g			
5月中旬~	アブラムシ類	①	-	ウララDF	I:29		2,000~4,000倍	25~50g	収穫前日まで	2回以内	
	アザミウマ類・ハスモンヨトウ・オオタバコガ・ハダニ類		1	グレーシア乳剤	I:30		2,000倍	50g	収穫前日まで	2回以内	
	アザミウマ類	①	3~7	スピノエース顆粒水和剤	I:5		5,000倍	20g	収穫前日まで	2回以内	
	アザミウマ類		1	ファインセーフフロアブル(劇)	I:34		1,000~2,000倍	50~100ml	収穫前日まで	3回以内	
	うどんこ病	②	-	ジーファイン水和剤	F:NC F:MO1		750~1,000倍	100~133g	収穫前日まで	-	予防・治療 野菜類(なすを除く)で登録
	うどんこ病		-	ベルコート水和剤	F:MO7		4,000倍	25g	収穫前日まで	5回以内	予防・治療
	灰色かび病・うどんこ病	②	-	フルピカフロアブル	F:9		2,000~3,000倍	33~50ml	収穫前日まで	3回以内	予防
	灰色かび病	①	-	アミスター20フロアブル	F:11		1,500倍	66ml	収穫前日まで	苗床4回以内 本圃3回以内	散布後高温が予想される場合は散布しない 予防・治療
	うどんこ病						1,500~2,000倍	50~66ml			
	疫病		1	レーバフロアブル	F:40		2,000倍	50ml	生育期 但し、収穫前日まで	本圃:2回以内	予防・治療
	ハダニ類		1	ダブルフェースフロアブル	I:25B I:21A	C	2,000倍	50ml	収穫前日まで	1回	微小ダニにも有効
	ハダニ類		1	バロックフロアブル	I:10B		2,000倍	50ml	収穫前日まで	1回	卵・幼若虫
	ハダニ類		1	ダニサラバフロアブル	I:25A		1,000倍	100ml	収穫前日まで	2回以内	全ステージ(特に幼虫)
	ハダニ類		1	マイトコーネフロアブル	I:20D		1,000倍	100ml	収穫前日まで	2回以内	成虫・幼虫
	ハダニ類		ほとんど影響なし	カネマイトフロアブル	I:20B		1,000~1,500倍	66~100ml	収穫前日まで	1回	全ステージ 葉裏に褐変症状
ハダニ類		-	ダニオーテフロアブル	I:33		2,000倍	50ml	収穫前日まで	2回以内	全ステージ	
開花前	ミカンキイロアザミウマ		10~30	マラソン乳剤	I:1B		2,000倍	50ml	収穫3日前まで	5回以内	
	アブラムシ類・ハダニ類						2,000~3,000倍	33~50ml			
開花期	アザミウマ類		1	マッチ乳剤	I:15		1,000~2,000倍	50~100ml	収穫前日まで	4回以内	幼虫・脱皮阻害
	うどんこ病	③	-	ジーファイン水和剤	F:NC F:MO1		750~1,000倍	100~133g	収穫前日まで	-	予防・治療 野菜類(なすを除く)で登録
肥大期	アブラムシ類	②	2~3	マブリック水和剤20(劇)	I:3A	B	8,000倍	12.5g	収穫前日まで	2回以内	
	うどんこ病		1	トリフミン水和剤	F:3		3,000~5,000倍	20~33g	収穫前日まで	5回以内	予防・治療
収穫期	アブラムシ類	②	-	ウララDF	I:29		2,000~4,000倍	25~50g	収穫前日まで	2回以内	
	アザミウマ類	②	3~7	スピノエース顆粒水和剤	I:5		5,000倍	20g	収穫前日まで	2回以内	
	うどんこ病	④	-	ジーファイン水和剤	F:NC F:MO1		750~1,000倍	100~133g	収穫前日まで	-	予防・治療 野菜類(なすを除く)で登録
	灰色かび病・うどんこ病	③	-	フルピカフロアブル	F:9		2,000~3,000倍	33~50ml	収穫前日まで	3回以内	予防
	灰色かび病・うどんこ病		-	パレード20フロアブル	F:7		2,000~4,000倍	25~50ml	収穫前日まで	3回以内	予防・治療
	灰色かび病	②	-	アミスター20フロアブル	F:11		1,500倍	66ml	収穫前日まで	苗床4回以内 本圃3回以内	散布後高温が予想される場合は散布しない 予防・治療
うどんこ病	1,500~2,000倍						50~66ml				

\* 使用時期の「収穫の前日まで」とは、薬剤散布を終了した時刻より24時間を経過するまで、収穫出来ないことを示します。

\* 重複記載欄に○がある薬剤は、本防除暦内で2ヶ所以上に記載されているため、使用回数超過に留意する。

アザミウマ類の防除について

・特にミカンキイロアザミウマの発生がみられる場合は、モスピラン顆粒水溶剤(劇)(希釈倍数2,000倍、使用時期前日まで、アセタミプリド成分回数注意)、アデント水和剤(希釈倍数1,000倍、使用時期前日まで、使用回数4回以内)を散布する。また、常々耕種的防除を徹底する。

・いちごは訪花昆虫(ミツバチ等)による受粉を行うので、開花時からは訪花昆虫に影響の少ない薬剤を選択し、防除体系をとる。

※同一系統・同一薬剤の連用、多数回使用は避けてください。≪RACコードが同じものは、系統欄に同じ文字を記載しています≫  
(農薬ごとの作用性を分類したものを「RACコード」という)

◆防除器具の洗浄不足対策

- 防除器具は、前回散布後に十分洗浄したか確認し、散布当日も薬剤調整前にもう一度通水し洗浄しましょう。
- 防除器具は使用后、通水で3回以上洗浄しましょう。
- 洗浄水は川や下水等に流さないようにしましょう。